

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(MENA・イスラム圏: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MenaOicCountries.html> )

マイライブラリー:0339

(注)本稿は 2015 年 4 月 8 日および 12 日の 2 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2015.4.13  
前田 高行

## 2050年にはキリスト教徒に肩を並べるムスリム人口—Pew Research Center レポート

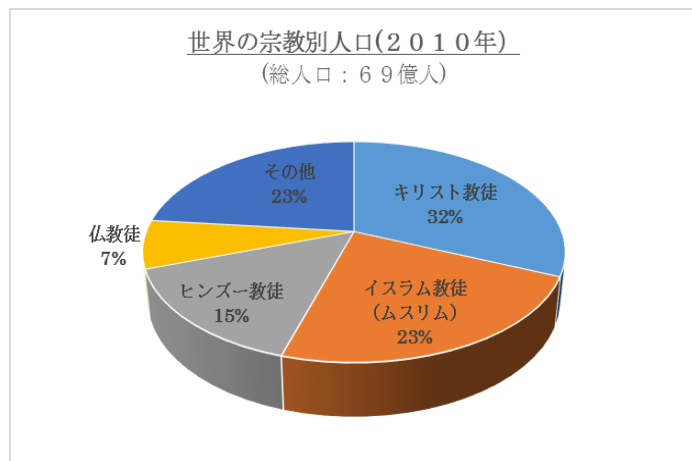
目次	頁
1. 2010年の世界の宗教別人口	1
2. 2010～2050年の世界の宗教人口の推移	3
3. 2050年のムスリム人口	4
4. ムスリム人口の増加がもたらす問題は？	4

本稿は米国ワシントンに本部があり、宗教人口統計で定評のある Pew Research Center(PEW)が最近発表した「The Future of World Religions: Population Growth Projections, 2010-2050」(\*)の概要である。本レポートは2010年におけるキリスト教徒、イスラム教徒(ムスリム)、仏教徒などの宗教人口の世界各国・地域別分布状況を示すとともに、2020年、2030年、2040年および2050年についても同様の推定値を示したものである。ここでは世界の宗教別人口構成のほかムスリムの地域別および国別の信者数について分析した<sup>1</sup>。

URL: <http://www.pewforum.org/2015/04/02/religious-projections-2010-2050/>

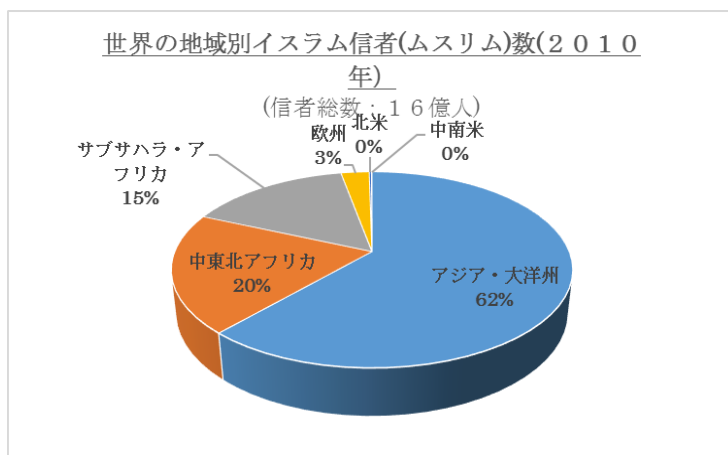
### 1. 2010年の世界の宗教別人口

#### (1)全世界の宗教別人口



PEW では2010年の世界人口を69億人と推計しているが、宗教別に見ると、最も多いのがキリスト教徒の22億人で全人口の31%を占めている。これに次いで多いのがムスリムの16億人で23%である。つまり世界人口の3人に1人がキリスト教徒、4人に1人がムスリムということになる。因みに両者以外ではヒンズー教徒が15%、仏教徒は7%である。

## (2) 地域別ムスリム人口



世界16億人のムスリムの地域別分布を見ると、最も多いのはアジア・大洋州であり全世界のムスリムの62%、10億人弱が居住している。次項の国別ムスリム人口で述べるとおりこの地域にはインドネシア、インド、パキスタン、バングラデシュなどムスリム人口が1億人を超す国があり、また中国の西域や中央アジア各国にも多くのムスリムが住んでいる。

アジア・大洋州に次いでムスリムが多いのは中東・北アフリカ地域であり、同地域のムスリムは3.2億人、全イスラムに占める割合は20%である。アフリカのサブ・サハラもナイジェリア、ニジェール、マリなどに約2.5億人(16%)のムスリムが住んでいる。これら3地域を合わせると全ムスリムの97%に達する。残る3%は欧州に居住しており、北米・中南米のムスリム人口はごくわずかである。

## (3) 国別ムスリム人口 (末尾表 1-I-2-T03 参照)

国別のムスリム人口を見るとムスリムが1億人以上の国はインドネシア、インド、パキスタン、バングラデシュの4カ国である。インドネシアは世界最大のムスリムを抱え、その数は2億9百万人であり、総人口2億4千万人の87%を占めている。インドネシアに次いでムスリムが多いのはインドの1.8億人であるが、同国はヒンズー教徒が多数を占めており、全人口のムスリム比率は14%に過ぎない。パキスタン及びバングラデシュのムスリム人口は各々1.7億人、1.3億人であり、それぞれの総人口に占める比率は96%及び90%である。ムスリムの比率ではパキスタン、バングラデシュ両国はインドネシアよりも高い。

上記4カ国に続いてナイジェリア(7,730万人)、エジプト(7,700万人)、イラン(7,360万人)及びトルコ(7,130万人)が七千万人台で並んでいる。このうちナイジェリアは総人口に占めるムスリムの比率は49%であるが、他の3カ国は95%以上がムスリムである。

上記8カ国の他ムスリムが三千万人以上の国はアルジェリア、モロッコ、イラク、アフガニスタンおよびスーダンの5カ国である。以上13カ国に次いでムスリム人口が多いのはエチオピア、ウズベキスタン、サウジアラビアと続いている。これらの国の多くはイスラムを国教としており、またイスラム協力機構(OIC、旧称イスラム諸国会議機構)のメンバーである。

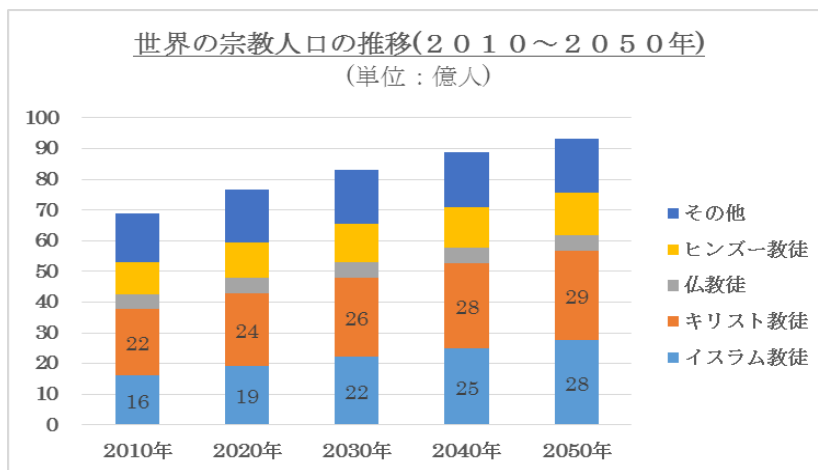
しかし非イスラム国とされる中国とロシアにも多くのムスリムが住んでいる。中国のムスリム人口は2,500万人でありサウジアラビアに次いで多いが総人口に占める比率は1.8%にとどまっている。ロシアは旧ソ連邦時代の中央アジア諸国が独立した今も総人口の1割を占める1,430万人

のムスリムを抱えている。なおロシアは OIC のオブザーバーメンバーである。

よく知られる通り欧米諸国にも多数のムスリムが居住しており、例えばドイツ及びフランスは各470万強のムスリムを抱え、人口総数に占める割合はそれぞれ5.8%および7.5%に達する。両国に比べムスリム人口は少ないものの英国には300万人、また米国にも280万人のムスリムがいるとされ、またイタリアに220万人、スペインにも100万人のムスリムがいる。

中東地域のイスラム諸国と鋭く対立しているイスラエルはユダヤ人の国とみなされているが、パレスチナ・アラブ人のムスリムが140万人おり、同国の全人口の19%を占めている。ムスリムの人口増加率は非ムスリムのそれを大きく上回っており今後同国のムスリム人口は増加し、また総人口に占める比率も上昇するとみられる(後述)。なお PEW は日本のムスリムは20万人(総人口に占める比率0.2%)と推定している。

## 2. 2010~2050年の世界の宗教人口の推移



PEW レポートは2010年以降10年ごとの世界総人口と宗教別人口の推移を予測している。これによると世界の総人口は2010年の69億人が2020年には77億人、さらに83億人(2030年)、89億人(2040年)となり2050年には90億人を突破して93億人に増加すると見込まれている。

る。今世紀半ばの2050年には2010年人口の1.3倍となる。

宗教別ではキリスト教徒の人口が今後とも最も多くを占め、22億人(2010年)→24億人(2020年)→26億人(2030年)→28億人(2040年)→29億人(2050年)と年々増加する見通しである。2050年は2010年の1.3倍で世界総人口と同じ増加率である。

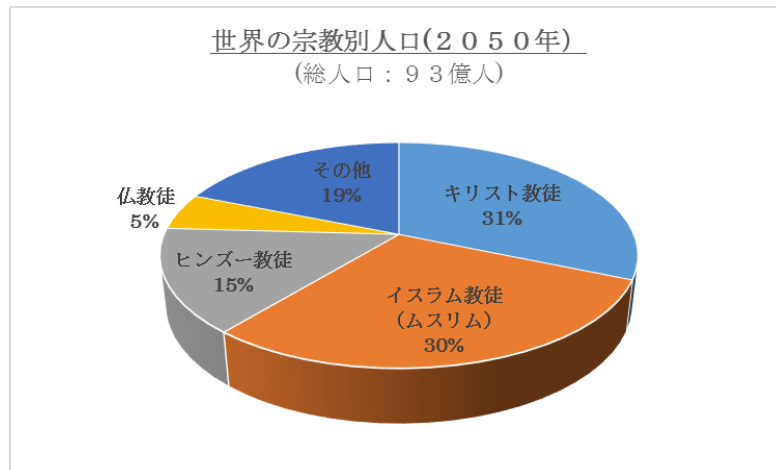
これに対してムスリム(イスラム教徒)の人口はキリスト教徒の伸びを大きく上回り2010年の16億人が2020年には19億人、さらに2030年22億人、2040年25億人になり、2050年には28億人に達すると見込まれている。2010年から2020年までの10年間で16%増加し、2030~2050年もほぼ同様の増加が続く。この結果、2050年のムスリム人口は世界全体の30%を占めキリスト教徒人口に並ぶ勢いである。

ちなみにヒンズー教徒はキリスト教徒と同じ増加傾向を示し、2050年の世界人口に占める割合は2010年と変わらず15%である。これに対して仏教徒だけはこれら3つの宗教と異なり2010年の4.9億人が2030年に5.1億人のピークに達した後は減少し、2050年には2010年の水準に

逆戻りする。このため仏教徒が世界人口に占める割合は2010年の7.1%から年々減少し2050年には5.2%になると見込まれている。

### 3. 2050年のムスリム人口

#### (1) 宗教別人口



2050年の宗教別人口はキリスト教徒29億人、ムスリム28億人、ヒンズー教徒14億人、仏教徒5億人、その他18億人であり、キリスト教徒とムスリムの人口はほぼ肩を並べ、全人口に占める割合はともに30%である。即ち全世界の人口の3人に一人はムスリムということになる。

#### (2) 国別人口 (末尾表 1-I-2-T03 参照)

2050年の国別のムスリム人口ではインドが世界一の3.1億人に達する見込みである。これに次ぐのがパキスタンで同国のムスリムは2.7億人となる。2010年にムスリム人口が世界最大であったインドネシアは世界3位の2.6億人である。ナイジェリアはムスリムの増加率が際立って大きく2010年の7千7百万人が2050年には3倍の2.3億人に達すると見込まれている。このほかバングラデシュ(1.8億人)およびエジプト(1.2億人)がムスリム人口1億人を超えると予測されている。

これらイスラム国に対して西欧諸国、ロシア、中国などの非イスラム国の場合、ほとんどの国で人口が減少する傾向にあるが、ムスリム人口だけは例外なく増加しており、従っていずれの国でもムスリムの比率が上昇している。例えば2050年のフランスのムスリムは2010年(471万人)の1.6倍、754万人に増加、ムスリム比率も7.5%から10.9%に拡大する見込みである。またドイツのムスリムも476万人から7百万人(ムスリム比率:5.8%→10%)に増加、両国では10人に一人がムスリムということになる。これは中東・北アフリカのムスリム諸国から引き続き移民が流れ込むとともにムスリムの二世、三世がハイ・ペースで増加するためと考えられる。

土着のムスリムを抱える中国、ロシアにおいてもムスリムの人口増加率が多数派民族を上回り、2050年のムスリム人口は中国の場合3,500万人、ロシアでは2,100万人と推定されている。さらにイスラエルの場合ムスリムの絶対数は多くないものの、その比率は2010年の19%から2050年には25%に達し、4人に一人がムスリムということになる。

### 4. ムスリム人口の増加がもたらす問題は？

PEWの1990年の調査では世界のムスリム人口は11億人であり、総人口に占める比率は21%であった<sup>2</sup>。そして本稿で見た通りムスリム人口は今後も世界人口の平均増加率を大きく上回るペー

スで増加すると見込まれ、2050年には全人口の3割を占めキリスト教徒の人口とほぼ肩を並べるようになる。そして仏独などヨーロッパ各国でもムスリムの絶対数および全人口に占める比率も上昇の一途をたどると予測されている。

ムスリムが PEW の予測通りに増加するとすれば、そこには多くの問題が潜んでいる。筆者の思いつくままに列挙すればそれは以下のようなことではないかと思われる。

- 1) ムスリムが多数を占める国々の多くは発展途上国であり欧米先進国に比べて貧しい。現在の経済格差が縮まらないのであれば(その可能性は高い)、格差はさらに広がリイスラム社会は過激思想の温床となる。
- 2) キリスト教徒とムスリムの共存のための対話が進展しなければ、今後人口が肩を並べる段階で両者の対立がますます先鋭化する恐れがある。
- 3) ヨーロッパ諸国、中国等の非イスラム国におけるムスリムの人口比率が漸増傾向にあり、各国の不安要因が増大すると予測される。それは一方ではムスリムによる国内テロ活動、他方では極右団体による移民排斥運動と重なって社会が両極に分裂、一般市民のなかにイスラムフォビア(嫌悪思想)あるいは偏狭な民族思想が蔓延する恐れがある。
- 4) アラブ・ムスリムの大海に浮かぶイスラエルでムスリムが全国民の4分の1を占めるようになれば(2050年予測)明らかにユダヤ人の国というイスラエルの国はそのものが揺らぐことになる。今後もパレスチナの分離独立を認めないのであれば、アラブ・ムスリムに対する選択的人口抑制策(それは実におぞましくも戦慄的なことであるが)の思想が一部ユダヤ人に生まれないとも限らない。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; [maeda1@jcom.home.ne.jp](mailto:maeda1@jcom.home.ne.jp)

### 主な国のイスラム信者(ムスリム)人口

— 国名	2010年			2050年		
	ムスリム信者数	総人口	ムスリム比率	ムスリム信者数	総人口	ムスリム比率
	1,000 人	1,000 人	%	1,000 人	1,000 人	%
インドネシア	209,120	239,870	87.2%	256,820	297,260	86.4%
インド	176,200	1,224,620	14.4%	310,660	1,691,280	18.4%
パキスタン	167,410	173,590	96.4%	273,110	283,110	96.5%
バングラデシュ	134,430	148,690	90.4%	182,360	198,960	91.7%
ナイジェリア	77,300	158,420	48.8%	230,700	394,150	58.5%
エジプト	76,990	81,120	94.9%	119,530	124,130	96.3%
イラン	73,570	73,980	99.4%	86,190	86,460	99.7%
トルコ	71,330	72,750	98.0%	89,320	91,180	98.0%
アルジェリア	34,730	35,470	97.9%	45,620	46,580	97.9%
モロッコ	31,930	31,950	99.9%	39,950	39,970	99.9%
イラク	31,340	31,670	99.0%	80,190	80,790	99.3%
アフガニスタン	31,330	31,410	99.7%	72,190	72,380	99.7%
スーダン	30,490	33,600	90.7%	64,720	71,330	90.7%
エチオピア	28,680	82,950	34.6%	57,960	145,350	39.9%
ウズベキスタン	26,550	27,450	96.7%	35,300	36,110	97.8%
サウジアラビア	25,520	27,450	93.0%	42,490	45,630	93.1%
中国	24,690	1,341,310	1.8%	35,290	1,305,010	2.7%
(その他主な国)						
ロシア	14,290	142,960	10.0%	20,860	123,960	16.8%
ドイツ	4,760	82,300	5.8%	7,000	70,220	10.0%
フランス	4,710	62,790	7.5%	7,540	69,300	10.9%
米国	2,770	310,380	0.9%	8,090	394,350	2.1%
英国	2,960	62,040	4.8%	7,760	68,610	11.3%
イタリア	2,220	60,550	3.7%	5,320	56,080	9.5%
イスラエル	1,380	7,420	18.6%	2,870	11,690	24.6%
スペイン	980	46,080	2.1%	3,840	52,310	7.3%
日本	200	126,540	0.2%	310	107,780	0.3%
<b>World Total</b>	<b>1,599,700</b>	<b>6,895,850</b>	<b>23.2%</b>	<b>2,761,480</b>	<b>9,307,190</b>	<b>29.7%</b>
—	—	—	—	—	—	—
アジア・大洋州	986,420	4,054,940	24.3%	1,457,720	4,937,900	29.5%
中東・北アフリカ	317,070	341,020	93.0%	551,900	588,960	93.7%
アフリカ(サブ・サハラ)	248,420	822,730	30.2%	669,710	1,899,960	35.2%
欧州	43,470	742,550	5.9%	70,870	696,330	10.2%
北米	3,480	344,530	1.0%	10,350	435,420	2.4%
中南米	840	590,080	0.1%	940	748,620	0.1%

Source: PEW Research Center(The Future of World Religions: Population Growth Projections, 2010-2050)

<http://www.pewforum.org/2015/04/02/religious-projections-2010-2050/>

<sup>1</sup> PEW の前回レポートについては拙稿「世界のムスリム(イスラム信者)人口は？」参照。  
<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0282WorldMuslimPopulation.pdf>

<sup>2</sup> 同上